

花の バイオテクノロジー

日時 **2014年 8月30日(土)**
13:30～16:00(13:00開場)

会場 新潟大学附属中央図書館 ライブラリーホール

対象 一般市民・高校生・農業関係者

[司会進行]

中野 優 新潟大学農学部准教授

[開会の挨拶]

金子 双男 新潟大学理事(社会連携・財務担当)

品田 宏夫 刈羽村村長

[講演]

13:45～13:55 『K A A Bのこれまでのあゆみと今後の展望』

三ツ井 敏明 新潟大学・刈羽村先端農業バイオ研究センター・センター長

13:55～14:55 『中国雲南省における植物多様性と遺伝資源の利用』

神戸 敏成 富山県中央植物園・企画情報課長

14:55～15:55 『バイオテクノロジーによる花の育種』

～青いコチョウランの作出を中心に～

三位 正洋 千葉大学環境健康フィールド科学センター・名誉教授

[閉会の挨拶]

新村 末雄 新潟大学農学部長

主催：新潟大学・刈羽村先端農業バイオ研究センター

URL: <http://www.agr.niigata-u.ac.jp/~nkariwa/index.html>

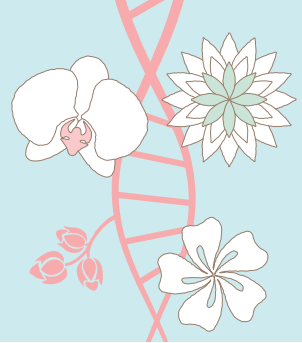
共催：新潟大学農学部附属フィールド科学教育研究センター

後援：刈羽村

お問い合わせ／刈羽村バイオドーム事務局フォーラム担当

TEL：0257 31 8871 (吉田)





第5回 新潟大学・刈羽村先端農業バイオ研究センターフォーラム

【趣旨】 花は観賞を目的として栽培されるため、流行に左右されやすく、新奇性のある品種を常に育成し続ける必要があります。そして、品種改良の際に重要となるのが、新たな遺伝資源の確保です。一方、花においては、胚救出や遺伝子組換え等のバイオテクノロジーが品種改良に広く利用されています。本フォーラムでは、花の宝庫とされる中国雲南省の遺伝資源に関する研究者、および日本における花のバイオテクノロジー研究の第一人者を招き、花の品種改良における遺伝資源の重要性と活用、最新のバイオテクノロジーによる新品種育成について紹介していただきます。

【会場案内】

新潟大学附属中央図書館 ライブラリーホール

新潟市西区五十嵐 2 の町 8050 <http://www.lib.niigata-u.ac.jp/>
 ※出来るだけ公共交通機関をご利用ください。



申込締切 **8月22日(金)**

参加をご希望の方は資料準備の都合上、8月22日までにE-mailまたはFAXでお申し込みください。なお、当日参加も可能です。

E-mail

件名を「フォーラム」とし、下記必要事項を明記のうえ、

mary1224@agr.niigata-u.ac.jp に送信してください。

F A X

下記に必要事項をご記入のうえ、このまま

0257-31-8872 へ送信してください。

第5回新潟大学・刈羽村先端農業バイオ研究センターフォーラム 参加申込書

ふりがな			
氏名			
勤務先*			所属・役職*
連絡先	住所		
	TEL	FAX	
	E-mail		

※勤務先と所属・役職については該当がない場合、無記入でもかまいません。
 ※参加申込書にご記入いただきました個人情報は本フォーラムに関するご連絡のみ利用させていただきます。